

社会福祉法人湖東会定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

- (1) 第一種社会福祉事業
 - (イ) 特別養護老人ホームの経営
 - (ロ) 養護老人ホームの経営
- (2) 第二種社会福祉事業
 - (イ) 老人短期入所事業の経営
 - (ロ) 相談支援事業の経営
 - (ハ) 老人デイサービスセンターの経営
 - (ニ) 障害福祉サービス事業の経営
 - (ホ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営
 - (ヘ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人湖東会という。

(経営の原則等)

- 第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。
- 2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を滋賀県蒲生郡日野町松尾359番地に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上8名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

- 第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。
- 2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、職員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。
 - 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
 - 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
 - 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、賛成することを要する。

(評議員の任期)

第7条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の後任として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第8条 評議員に対する報酬は、無報酬とする。ただし、旅費等の費用弁償は別に定める基準に従い支給する。

第3章 評議員会

(構成)

第9条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

2 評議員会に議長を置き、議長はその都度互選とする。

(権限)

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

(1) 理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任

(2) 理事及び監事の報酬等の額

(3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準

(4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認

(5) 定款の変更

(6) 残余財産の処分

(7) 基本財産の処分

(8) 社会福祉充実計画の承認

(9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまで

の者を選任することとする。

- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示したときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第14条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員の中から選出された議事録署名人2名が前項の議事録に署名押印する。

第4章 役員及び会計監査人並びに職員

（役員の数）

第15条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名以上7名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長、1名を常務理事とする。
- 3 前項の副理事長及び常務理事をもって社会福祉法第45条の16第2項第2号の業務執行理事とする。
- 4 この法人に会計監査人を置く。

（役員及び会計監査人の選任）

第16条 理事及び監事並びに会計監査人は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び副理事長並びに常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選任する。

（理事の職務及び権限）

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副理事長並びに常務理事は理事会に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長及び副理事長並びに常務理事は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第18条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（会計監査人の職務及び権限）

第19条 会計監査人は、法令で定めるところにより、この法人の計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書）並びにこれらの附属明細書及び財産目録を監査し、会計監査報告を作成する。

- 2 会計監査人は、いつでも、次に掲げるものの閲覧及び謄写をし、又は理事及び職員に対し、会計に関する報告を求めることができる。
 - (1) 会計帳簿又はこれに関する資料が書面をもって作成されているときは、当該書面
 - (2) 会計帳簿又はこれに関する資料が電磁的記録をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を法令で定める方法により表示したもの

（役員及び会計監査人の任期）

- 第20条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
 - 3 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事または監事としての権利義務を有する。
 - 4 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、その定時評議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

(役員及び会計監査人の解任)

- 第21条 理事又は監事が、次のいずれかに該当する時は、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
 - (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
- 2 会計監査人が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
 - (2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき。
 - (3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。
- 3 監事は、会計監査人が、前項各号のいずれかに該当するときは、監事全員の同意により、会計監査人を解任することができる。この場合、監事は、解任した旨及び解任の理由を、解任後最初に召集される評議員会に報告するものとする。

(役員及び会計監査人の報酬等)

- 第22条 理事及び監事に対する報酬は無報酬とする。ただし、旅費等の費用弁済は別に定める基準に従い支給する。
- 2 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て、理事会において定める。

(職員)

- 第23条 この法人に、職員を置く。
- 2 この法人の設置運営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において選任及び解任する。
 - 3 施設長等以下の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

- 第24条 理事会は、全ての理事をもって構成する。
- 2 理事会に議長を置き、議長はその都度互選とする。

(権限)

- 第25条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が先決し、これを理事会に報告する。
- (1) この法人の業務執行の決定
 - (2) 理事の職務の執行の監督
 - (3) 理事長及び副理事長並びに常務理事の選定及び解職

(招集)

- 第26条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は、理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

- 第27条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったとみなす。

(議事録)

- 第28条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 資産及び会計

(資産の区分)

- 第29条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産及び公益事業用財産の3種類とする。
- 2 基本財産は、別表に掲げる財産をもって構成する。
- 3 その他財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。
- 4 公益事業財産は、第37条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

- 第30条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、滋賀県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、滋賀県知事の承認は必要としない。
- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

- 第31条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。
- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

- 第32条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。
- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

- 第33条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、かつ、第3号から第6号までの書類について会計監査人の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。
- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の付属明細書

- (3) 貸借対照表
 - (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
 - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の付属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に報告するものとする。ただし、社会福祉法施行規則第2条の39に定める要件に該当しない場合には、第1号の書類を除き、定時評議員会への報告に代えて、定時評議員会の承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
 - (2) 会計監査報告
 - (3) 理事及び監事並びに評議員名簿
 - (4) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (5) 事業の概要等を記載した書類

（会計年度）

第34条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終る。

（会計処理の基準）

第35条 この法人の会計に関しては、法令等及び定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

（臨機の措置）

第36条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第7章 公益を目的とする事業

（種別）

第37条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
 - (2) 生活支援ハウス事業
 - (3) 緊急短期受入事業
- 2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

第8章 解散

（解散）

第38条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

（残余財産の帰属）

第39条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人から選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

（定款の変更）

第40条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、滋賀県知事の認可（社

会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。)を受けなければならない。

- 2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を滋賀県知事に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、社会福祉法人湖東会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行なう。

(施行細則)

第42条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	柏 瀬	孝 一
理事	清 水	藤 蔵
理事	上 村	清
理事	植 田	義 弘
理事	橋 本	寛
理事	田 中	藤 七
理事	安 田	寛五郎
理事	服 部	良 蔵
理事	冏 司	恒 雄
監事	富 川	敏 雄
監事	落 合	孝 治

附 則

この定款は、厚生大臣の認可のあった日（昭和 56 年 3 月 20 日）から施行する。

附 則

この定款は、厚生大臣の認可のあった日（昭和 59 年 11 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、厚生大臣の認可のあった日（昭和 62 年 3 月 18 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（昭和 63 年 7 月 9 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 2 年 5 月 15 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 5 年 3 月 18 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 6 年 5 月 30 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 7 年 5 月 31 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 7 年 7 月 19 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 8 年 4 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 10 年 5 月 26 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 12 年 3 月 7 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 13 年 3 月 28 日）から施行する。
ただし、第 17 条に定める評議員の任期の終わりは、現理事の任期と同じとする。

附 則

この定款は、滋賀県知事に届出を行った日（平成 13 年 12 月 3 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 15 年 2 月 28 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 15 年 5 月 31 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 16 年 10 月 28 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 17 年 7 月 27 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 17 年 11 月 30 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 19 年 1 月 19 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 20 年 3 月 31 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事に届出を行った日（平成 20 年 5 月 28 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 21 年 5 月 28 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 21 年 7 月 28 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 24 年 6 月 22 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 25 年 7 月 2 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事の認可のあった日（平成 27 年 3 月 2 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事に届出を行った日（平成 28 年 6 月 14 日）から施行する。

附 則

この定款は、（平成 29 年 4 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、滋賀県知事に届出を行った日（平成 29 年 7 月 4 日）から施行する。

/別表

(1) 土地の部

所在地 (取得年月日)	地番	地目	地積m ²
滋賀県蒲生郡日野町大字 松尾字御霊谷 特別養護老人ホーム白寿荘 (S56.4.30)	359番3	山林	2,999.00
	358番4	山林	1,653.00
	(延 4,652.00m ²)		
滋賀県甲賀市水口町宇川 字上川原 就労継続支援B型事業 サニーサイド (S61.6.11)	2033番	宅地	3845.36
	(延 3,845.36m ²)		

(2) 建物の部

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積m ²	取得年月日
(主たる建物の部)					
滋賀県蒲生郡 日野町大字 松尾字御霊谷 359番地3 359番地4	359番3	老人ホーム	鉄骨造陸屋根 3階建	1階 1,793.27	H28.3.25 新築
				2階 1,807.97	H29.3.10 増築
				3階 830.53	
(付属建物の部)					
特別養護老人 ホーム白寿荘		倉庫	軽量鉄骨造亜鉛 メッキ鋼板葺 平家建	16.97	H29.3.10 新築
	(延面積 4,448.74m ²)				

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積m ²	取得年月日
(主たる建物の部)					
滋賀県蒲生郡 日野町大字 蓮花寺 字門之下 382番地	382番	老人 福祉施 設	木造かわらぶ き平家建	282.55	H20.3.25 新築
小規模多機能 ホーム さくらの里	(延面積 282.55m ²)				

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積 m^2	取得年月日
滋賀県甲賀市 水口町 宇川字上川原 2033 番地 就労継続支援 B型事業 サニーサイド	(主たる建物の部)				
	2033 番	作業 指導所	鉄筋コンクリート造 スレート葺 2 階建	1 階 485.09	S62. 3. 9 新築
				2 階 42.36	
				1 階 66.25	
	(付属建物の部)				
		作業所	軽量鉄骨造 亜鉛メッキ銅板 葺平家建	70.93	H15. 5. 9 種類変更
		作業所	軽量鉄骨造 合金メッキ銅板 葺平家建	108.81	H15. 3. 28 新築
	倉庫	軽量鉄骨造 合金メッキ銅板 葺平家建	59.54	”	
(延面積 832.98 m^2)					

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積 m^2	取得年月日
滋賀県甲賀市 水口町大字 泉字三十六 479 番地 4 479 番地 3 サニーホーム	(主たる建物の部)				
	479 番 4	養護所	木造瓦葺 2 階 建	1 階 116.34	H15. 3. 18 新築
2 階 65.36					
(延面積 181.7 m^2)					

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積m ²	取得年月日
滋賀県犬上郡 多賀町 大字中川原 字下川原 172 番地 174 番地 1 605 番地 2 606 番地 174 番地 1 先 土田字上囲井 186 番地 1 186 番地 1 先 土田字中囲井 248 番地 1 254 番地 1 254 番地 1 先 土田字囲井 996 番地 1 997 番地 1014 番地 1 996 番地 1 先 犬上ハートフ ルセンター	(主たる建物の部)				
	172 番	老人ホーム (特別養 護老人ホ ーム)	鉄筋コンクリート造瓦葺 陸屋根 2 階建	1 階 4443.81 2 階 631.52	H 6.9.20 新築 H13.1.25 増築 H16.7.20 増築
	(付属建物の部)				
		居宅 (職員宿 舎)	鉄骨造瓦葺 2 階建	1 階 195.84 2 階 202.93	H7.3.25 新築
		便所(屋 外便所)	コンクリートブロック造 瓦葺平家建	9.13	"
		老人ホーム (認知症 グループホ ーム)	鉄骨造瓦葺平家建	270.80	H13.1.25 新築
		老人ホーム (盲養護 老人ホー ム)	鉄骨瓦葺 3 階建	1 階 696.00 2 階 705.98 3 階 446.56	H25.3.27 新築
	(延面積 7,602.57m ²)				

所在地	家屋番号	種類	構造	床面積m ²	取得年月日
滋賀県犬上郡 多賀町大字 敏満寺字平の 1265 番地 ファミリース テーション 多賀	(主たる建物の部)				
	1265 番	老人ホー ム	木造合金メッ キ鋼板ぶき 平家建	226.72	H29.3.20 新築
(延面積 226.72m ²)					